



# 川柳小だより

子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と夢あふれる川柳小

令和7年4月8日  
草加市立川柳小学校  
TEL 931-5025  
児童数 505名



## 『それぞれのやさしさで』

校長 <sup>わた なべ しん いち</sup> 渡辺 真一

桜の花が咲き、新しい年度の始まりを告げています。校内にも、元気な声に戻ってきました。令和7年度は75名の新入生を迎えて、全児童数505名、全学級23学級、教職員46名(市職員等含む)でスタートしました。保護者の皆様、お子さんのご入学・ご進級を心からお喜び申し上げます。「ご入学・ご進級、おめでとうございます。」みなさんの新たな一步を、心からうれしく思います。私は本校二年目となりました校長 渡辺 真一と申します。本年度もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今年度の学校経営方針は、子どもたちだけではなく、保護者や地域の皆様、教職員が川柳小を好きになり、通いたい、通わせたい、働きたい、協力したいと思えるような学校にしていこうです。そして、その実現のために、川柳小学校の目指す学校像を次のとおり位置づけました。

目指す学校像 『子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と夢あふれる川柳小』

○すべての子どもに力をつける学校(主体的に考え、伝える力の育成)

○よさを認め、伸ばす学校(自己肯定感・自己有用感・他者理解)

○安心・安全で潤いのある学校(すべての子どもが居場所とを感じる)



子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在と捉え、子どもたちのよさや可能性が発揮され、一人ひとりを大切に信頼される学校づくりを推進していきます。その中でもみんなが笑顔でいるために子どもたちにまず伝えたいことは『やさしい人』になってほしいということです。やさしさは人によって少しずつかたちが違います。大きな声で元気づけてくれる人もいれば、そっと静かに見守ってくれる人もいます。うまく言葉にできなくても、そばにいてだけで安心できるような、そんな存在もあります。

私自身も、「やさしさって何だろう?」と、今でもよく考えます。やさしさは、ただの親切やお世話ではない気がします。相手の立場になって想像すること(他者理解)、時には自分の気持ちを抑えて相手を思いやること、また、自分自身を大切にすることも、やさしさの一つではないでしょうか。子どもたちには、ぜひいろいろな「やさしさ」を体験してほしいと思っています。だれかにやさしくしてもらったとき、どんな気持ちになったか。その気持ちを、今度はほかの誰かに届けることができるように。やさしさの連鎖が広がっていく学校でありたいと願っています。教職員一同、子どもたちの思いをていねいに受け止め、やさしさの芽が伸びていくのを、しっかりと見守ってまいります。

本年度も保護者・地域と共に歩む学校づくりを進めてまいりますので、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の学校への変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。